

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	E 指定管理者事業
事務事業名	健康福祉プラザ管理運営事業				シート番号	011-107
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進	課 評価責任者(課長名)
						小須田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	有
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(略称・障害者総合支援法)			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画 第5期堺市障害福祉計画・第1期堺市障害児福祉計画			
5	事業実施の経緯	第2次障害者長期計画(平成8年策定)に明記した「(仮称)障害者福祉センター」整備検討をきっかけとして、障害者ひとりひとりが生き生きと輝いている暮らしを実現するために、平成16年に施策の再構築と健康福祉プラザの整備方針を打ち出し、平成24年3月に竣工。 本事業は、平成22年度に指定管理者公募・決定(指定)を行い、以後、平成23年度末まで指定管理者が開所準備業務を行い、平成24年4月1日に開所。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他(指定管理者制度)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	身体障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者及び難病患者等(以下「障害者」という。) その他市民一般			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	障害のある方が住み慣れた地域で、安心して生き活きと生活を送ることができるよう、また、障害のある方もない方もさまざまな活動や交流を通じて相互理解を深めることができるよう、社会参加の促進、健康の維持・増進、在宅生活支援等を効果的かつ効率的に実施する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	健康福祉プラザ管理運営事業は、以下の2点の業務により構成されている。 ・健康福祉プラザ指定管理業務 ・重症心身障害者(児)支援センター指定管理業務  健康福祉プラザ指定管理業務は、施設全体の維持管理業務、及びプラザ内「市民交流センター」、「視覚・聴覚障害者センター」、「生活リハビリテーションセンター」、「スポーツセンター」の管理運営業務を担っており、障害者への文化・芸術・スポーツ活動等を通じた社会参加支援、視覚・聴覚障害者への情報・コミュニケーション支援や「手話言語コミュニケーション条例」の普及啓発、高次脳機能障害者へのリハビリテーション等を実施することにより、障害者の地域生活を支援するものである。 重症心身障害者(児)支援センター指定管理業務は、プラザ内「重症心身障害者(児)支援センター」の管理運営業務を担っており、在宅で生活する重症心身障害者(児)に短期入所、通所、外来診療・リハビリテーション等を提供することにより、重症心身障害者(児)及びその家族の地域生活を支援するものである。 いずれも業務は指定管理制度によって実施し、本市が定める業務仕様書に従って指定管理者によって提案される事業計画書に基づき、業務を実施する。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
10	直接実施以外の主な支出先	堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団 共同事業体、社会福祉法人 三篠会				

Ⅲ. 投入量

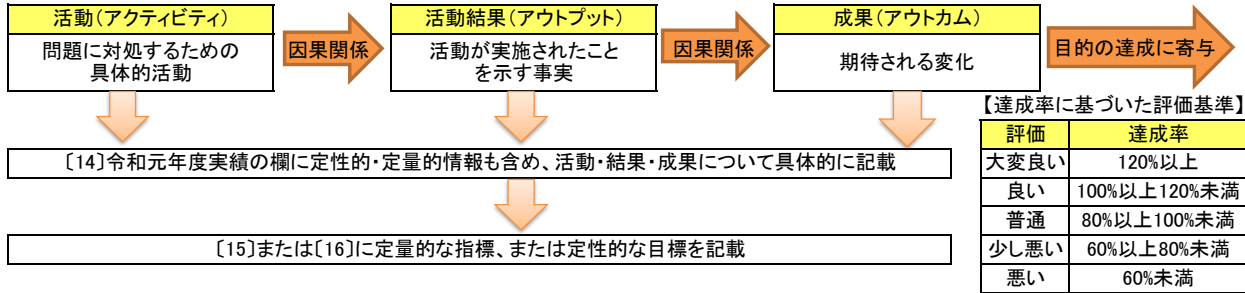
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費(a)	千円	458,636	458,033	465,597	464,568	474,717	477,580	489,190	
11 事業コスト	主な事業費内訳	指定管理料	千円	451,302	451,302	462,127	462,127	467,799	470,597
		徴収事務委託	千円	108	24	108	108	108	108
			千円						
	財源内訳	国・府支出金	千円	29,226	29,846	29,581	32,600	27,392	34,519
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	108	24	108	58	108	17
		市債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他(地域福祉推進基金、光熱水費徴収金)	千円	7,030	493	530	508	508	502
一般財源	千円	422,272	427,671	435,378	431,402	446,709	442,542	454,584	
12	人件費(b)	千円	10,830	10,830	9,840	9,840	9,720	9,720	9,840
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	469,466	468,863	475,437	474,408	484,437	487,300	499,030

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	健康福祉プラザ管理運営事業	シート番号	011-107
-------	---------------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)》

### ロジックモデルの考え方



[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績							
活動実績と成果	14	【健康福祉プラザ指定管理者】 令和元年度は第2期指定期間がスタートして3年目となった。開所当初からの過去7年間で培われたノウハウを用いて、安定的な施設運営を行うことができた。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月27日以降に教室などのイベント関係をすべて中止、3月2日以降は研修室、クッキングルーム、クラフトルーム、プール、体育室、トレーニング室を臨時休館とした。 施設利用者数(共用使用・専用使用)は104,067人で、目標の113,000人を上回ることができなかった。2月以降の新型コロナウイルス感染症の影響による、利用自粛や臨時休館が影響したものと考えられる。 春のプラザまつり(800名参加)や障害者週間フェスティバル(1700名参加)、水泳やボッチャなどのスポーツ教室(延べ2,992名参加)、文化芸術に関しては陶芸などの文化芸術教室(延べ985名参加)のほか、sakai Art cation(200点の応募・1,527名参加)などを行い、社会参加を促進した。 また、「手話言語コミュニケーション条例」の普及啓発として、市長記者会見動画への手話・字幕の挿入、市内7区において市民向け手話講座を5回コース5クール延べ175回を開催し、延べ1974名の市民が受講した。 プラザ全体の利用者満足度の目標設定については、平成29年度からは、目標値を85%以上としている。令和元年度の利用者アンケート調査の結果は、満足度81%で、前年度(78%)を上回ったものの、目標値を下回る結果となった。利用者満足度調査、文化・芸術・スポーツ教室等の参加者アンケート、利用者からの苦情・要望等から利用者ニーズや課題等を把握し、日常業務の改善を行うとともに、令和2年度事業計画に反映した。	令和元年度実績						
		【重症心身障害者(児)支援センター指定管理者】 重症心身障害者(児)支援センター管理運営業務では、入所者定員50名は、ほぼ常に満床状態であり、円滑な管理運営が行われた。							
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			人	目標値	100,000	113,000	113,000	114,000	
				実績値	113,674	111,138	104,067		
				達成率	114%	98%	92%		
				評価	良い	普通	普通		
			算出方法・設定根拠など	前年度以上					
			指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				%	目標値	85	85	85	85
					実績値	83	78	81	
					達成率	98%	92%	96%	
					評価	普通	普通	普通	
			算出方法・設定根拠など	毎年利用者アンケートを実施					

### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	施設利用者数の合計(延)	人	113,674	111,138	104,067
	②	上記①にかかる年間経費	千円	468,863	474,408	487,300
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,125	4,269	4,683
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	【施設利用者数の合計について】 平成30年度実績と比較し、令和元年度の施設利用者数の合計が減少する結果となったが、令和2年1月までの実績は前年度を上回る結果であった。 令和2年2月から新型コロナウイルス感染症による、利用自粛や3月以降の臨時休館が影響したものの。 (各年度4月～1月までの施設利用者数の合計比較) 平成30年度4月～1月: 93,098人      2月～3月: 18,040人 令和元年度4月～1月: 95,739人      2月～3月: 8,328人

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	健康福祉プラザ管理運営事業	シート番号	011-107
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 健康福祉プラザは障害者長期計画の基本理念である「障害者が住み慣れた地域で、主体的に、共生、協働のもと生き活きと輝いて暮らせる社会の実現」を達成するための広域的・総合的な拠点施設であり、今後も障害福祉施策を進めていくにあたって、利用者ニーズの高い事業であると考えられる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 上記廃止した場合と同様。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 健康福祉プラザの障害福祉拠点施設としての特性上、現在行っている他事業の移管・集約なども行っており、本事業におけるコストの縮減はできない。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 施設利用における利用方法や人数の制限を行うほか、事前予約制としている。また、オンライン会議システムを利用し、自宅等からも研修や講習会に参加できる体制をとっている。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部署等との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 (                      )	理由・説明	指定管理者制度を導入し、民間のノウハウや創意工夫を活かして、施設管理や事業運営を実施する形になっている。 また、指定管理事業のうち、各センターで実施しているスポーツやコミュニケーション支援等の事業では、ボランティアに協力を得て事業を展開している。 また、各種事業において、オンライン会議システムを導入し、講座の参加者を確保するなどの工夫をしている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	【健康福祉プラザ管理運営業務について】 第1期指定期間を通じて確立してきた事業形態を安定的に継続して実施できるよう、市と指定管理者が連携しながら効率的に事業を展開するとともに、引き続き安全・安心な施設管理に取り組んでいく。 【重症心身障害者(児)支援センター管理運営業務について】 今後も入所者等が安心して利用できるよう、安全面に配慮した取り組みを進めていく。		